

2023 年度

日本医学會事業計畫

2023 年 2 月 22 日

日本医学會

目 次

1. 第31回日本医学会総会	……………1
2. 日本医学会幹事会	……………1
3. 日本医学会定例評議員会	……………1
4. 日本医学会シンポジウム	……………1
5. 日本医学会公開フォーラム	……………2
6. 日本医学会協議会	……………2
7. 医学用語管理事業	……………2
1) 医学用語管理委員会	……………2
2) 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ	……………2
3) 不適切語を含む医学用語の検証に関するワーキンググループ	……………3
4) 用語表記基本指針策定ワーキンググループ	……………3
8. 日本医学会分科会用語委員会	……………3
9. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会	……………3
10. 日本医学会加盟検討委員会	……………3
11. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会	……………3
12. 日本医学会利益相反委員会	……………4
13. 日本医学会分科会利益相反会議	……………4
14. 日本医学会産学連携健全化ワーキンググループ	……………4
15. 日本医学雑誌編集者組織委員会	……………4
16. 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)	……………4
17. 研究倫理教育研修会	……………4
18. 日本医学会総会あり方委員会	……………5

19. 再生医療等レジストリ協議会	……………5
20. 移植関係学会合同委員会	……………5
21. 出生前検査認証制度等運営委員会	……………5
22. 予定される諸会議	……………5
23. その他	……………6

1. 第31回日本医学会総会

第31回日本医学会総会（会頭：春日雅人，副会頭：宮園浩平（会頭代行）北川昌伸，天谷雅行，栗原敏，新井一，尾崎治夫，準備委員長：門脇孝）は，東京において，学術集会を2023（令和5）年4月21日（金）～23日（日）の3日間，また学術展示は2023（令和5）年4月20日（木）～23日（日），博覧会は2023（令和5）年4月15日（土）～4月23日（日）に開催する予定である。

会場として，学術集会には東京国際フォーラム，JPタワー，東京商工会議所，ステーションコンファレンス東京，学術展示には東京国際フォーラム，博覧会は東京国際フォーラム，KITTE，丸ビル，丸の内仲通り，行幸通り地下ギャラリー，他の施設がそれぞれ計画されている。

第31回日本医学会総会に向けて，2023（令和5）年度中に予定している準備事項は次の通りである。

- 1) 学術集会の会場使用計画およびWEB配信計画の最終決定
- 2) 展示企画のコンテンツの内容・協賛企業の最終決定
- 3) 本総会の積極的な広報活動
- 4) 開会式，閉会式，開会記念特別講演会・市民公開講座の次第および招待者の決定
- 5) 開催当日の運営計画確定（受付・警備・保険等）
- 6) 学術集会，展示企画の当日運営
- 7) 会務記録（記録集）の作成および記録映像の製作
- 8) 決算報告書の作成
- 9) その他

2. 日本医学会幹事会

本年度も引き続き開催予定である。

3. 日本医学会定例評議員会

本年度も引き続き開催予定である。

4. 日本医学会シンポジウム

日本医学会シンポジウムを下記のとおり予定している。

- ・第 162 回日本医学会シンポジウム
「医学教育の在り方を見直す」
2022 年 6 月 3 日（土）日本医師会館 大講堂（無観客収録）
組織委員：瀬戸泰之（東京大学医学部附属病院院長）
野田泰子（自治医科大学医学部解剖学教授）
- ・第 163 回日本医学会シンポジウム
「主題未定」
2023 年 10 月頃（土）開催予定 日本医師会館 大講堂
組織委員：未定

5. 日本医学会公開フォーラム

日本医学会公開フォーラムを下記のとおり予定している。

- ・第 33 回日本医学会公開フォーラム
「移植医療の現状と課題」
2023 年 6 月 17 日（土） 日本医師会館 大講堂（無観客収録）
組織委員：小野 稔（東京大学大学院医学系研究科心臓外科学教授）
有賀 徹（独立行政法人労働者健康安全機構理事長）
- ・第 33 回日本医学会公開フォーラム
「主題未定」
2023 年 10 月頃（土）開催予定 日本医師会館 大講堂
組織委員：未定

6. 日本医学会協議会

本年度も引き続き毎月の開催を予定している。

7. 医学用語管理事業

1) 医学用語管理委員会

医学用語辞典の改定を進めるほか、医学用語に関連する事業を幅広い視野で検討していく予定である。日本医学会医学用語辞典 WEB 版を携帯からもアクセスしやすい形で公開している。

2) 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

今年度も引き続き開催予定である。

3) 不適切語を含む医学用語の検証に関するワーキンググループ

2019年10月に立ち上がった「奇形」を含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ」から名称を変更した。検討過程で必要に応じて新たな委員の増員もある。

4) 用語表記基本指針策定ワーキンググループ

医学用語辞典の改定にあたり2021年度から新たに発足したワーキンググループである。本年度開催予定である。

8. 日本医学会分科会用語委員会

分科会用語委員会委員を対象にした会議で、2023年度も開催を予定している。

9. 医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

平成元（1989）年度より、日本医学会が医学賞・医学研究助成費に関する選考を日本医師会から委任され、審査を行ってきたが、平成23年度より、医学研究助成費は医学研究奨励賞と名称変更した。2023年度も継続して実施する。

医学賞・医学研究奨励賞候補の推薦については、5月上旬に、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長（本院）、関係機関長、都道府県医師会長などあてに依頼状を発送する予定である。7月上旬に推薦を締め切り、8月下旬、選考委員会において受賞者を選考する。なお、被推薦者は日本医師会会員に限るとされている。

受賞者は、日本医師会設立記念医学大会（11月1日）の席上において表彰される予定である。

10. 日本医学会加盟検討委員会

平成8（1996）年度より、日本医学会への新規加盟審査が新しい方式で行われているが、審査基準を2021年5月に改定した。

2023年度の加盟申請の公示は5月15日に行い、7月31日で締め切る予定である。また審査は9月から12月にかけて行われ、2024年2月開催の定例評議員会で決定される。

11. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

本委員会は、平成23年度に新設した委員会である。遺伝子情報が医療のみならず、科学的根拠が乏しいままビジネスに使われている状況があることから、健康、社会における国

民の遺伝子情報の取り扱いについて、今後も課題を検討していく。

12. 日本医学会利益相反委員会

日本医学会分科会での各専門学会の生命科学研究の推進において科学性、医学性、倫理性を確保しながら発展させるとともに、産学連携を透明性、中立性、公明性を担保に推進していくことを目的とする。

13. 日本医学会分科会利益相反会議

日本医学会分科会の利益相反担当者を集め、利益相反に関する情報伝達を行うことを目的とする。

14. 日本医学会産学連携健全化ワーキンググループ

2022年1月に日本医学会長直轄のワーキンググループとして、新たに発足した。①最新の医療情報の提供における内容の質と信頼性の確保。②学術講演事業活動による我が国の医療レベルの向上を図るための社会貢献のあり方、③学術講演者の役割と内容責任にかかる講演者資格の検討、④医療関連企業主催・共催の講演会に招聘される講演者の中立性、独立性の確保と講演内容にかかる責任の明確化。④本会関連団体（日本医師会、全国医学部長病院長会議、国立大学病院長会議、国立大学医学長会議等）との連携による産学連携の在り方について検討することを目的としている。本年度も引き続き課題を検討していく。

15. 日本医学雑誌編集者組織委員会

本委員会は、各分科会機関誌の編集の現状を把握し、「医学雑誌の質の向上への寄与」、「海外の編集者会議との連携」に取り組むことを目的としている。

16. 日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）

日本医学会分科会が発行する雑誌の編集長を集め、WHO 西太平洋地域事務所ならびに医学雑誌編集者国際委員会との関連を持たせることを目的とする。

17. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究倫理問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かしてもらうことを目的として、平成 27 年度から、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で、「研究倫理教育研修会」を開催している。日本医学会分科会の倫理委員会委員長を中心に集め、医学研究倫理について広く議論する。なお、平成 30 年度からは日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会も参加することとなり、4 委員会合同で開催しているが、2020 年度、2021 年度、2022 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み中止となった。2023 年度は第 7 回研究倫理教育研修会を 6 月 1 日（木）にオンラインで開催予定である。

18. 日本医学会総会あり方委員会

本年度も引き続き日本医学会総会のあり方を多角的に検討する予定である。

19. 再生医療等レジストリ協議会

2020 年度に発足している。本年度も引き続き日本再生医療学会と協力し、PMDA や関係学会と連携をとりながら進めて行く予定である。

20. 移植関係学会合同委員会

本年度も引き続き、厚生労働省、関係学会と協議し、随時検討していく予定である。

21. 出生前検査認証制度等運営委員会

本年度も厚生労働省、関係学会と協力して進めて行く予定である。

22. 予定される諸会議

1) 日本医学会幹事会	1 回
2) 日本医学会評議員会	1 回
3) 日本医学会協議会	1 2 回
4) 日本医学会シンポジウム	2 回
5) 日本医学会シンポジウム企画委員会	2 回

6) 日本医学会シンポジウム組織委員会	2回
7) 日本医学会公開フォーラム	2回
8) 日本医学会公開フォーラム企画委員会	2回
9) 日本医学会公開フォーラム組織委員会	2回
10) 日本医学会医学用語管理委員会	3回
11) 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ	3回
12) 不適切語を含む医学用語の検討に関するワーキンググループ	3回
13) 用語標記基本指定策定ワーキンググループ	3回
12) 日本医学会分科会用語委員会	1回
13) 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会	1回
14) 日本医学会加盟検討委員会	3回
15) 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会	3回
16) 日本医学会利益相反委員会	3回
17) 日本医学会分科会利益相反会議	1回
18) 日本医学会産学連携健全化ワーキンググループ	3回
19) 日本医学雑誌編集者組織委員会	3回
20) 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)	1回
21) 研究倫理教育研修会	1回
22) 日本医学会総会あり方委員会	3回
23) 再生医療レジストリ協議会	随時
24) 移植関係学会合同委員会	随時
25) 出生前検査認証制度等運営委員会	随時
26) その他の打ち合わせ会	随時
27) 関連機関の行う諸行事・会議への役員の参加	随時

23. その他

以下の事項を予定している。

- 1) 「日本医学会シンポジウム記録」の映像配信
- 2) 「日本医学会公開フォーラム記録」の映像配信
- 3) 「日本医学会分科会一覧」の発行と配布
- 4) 「2024年日本医学会分科会総会一覧」の発行（オンライン版のみ）
- 5) 「日本医学会 e-News」の発行（オンライン版のみ）
- 6) その他日本医学会の会務遂行上、必要な情報の収集と伝達および各分科会との連絡・調整を行う。